

「令和 4 年度沖縄県伝統芸能公演（高校生選抜かりゆし芸能公演）
企画・広報・運営業務」企画プロポーザル実施要領

1 趣旨・目的

沖縄県伝統芸能公演（高校生選抜かりゆし芸能公演）は、沖縄県郷土芸能ソロコンテスト（以下、ソロコンテストという。）入賞者による舞台披露機会の創出、また舞台公演を通して、実演家や入賞者同士の交流を図ることで、若手実演家の育成に寄与することを目的として実施する。

本事業を適正かつ円滑に実施するため、当該事業に関する業務（企画・広報・および出演者の調整等を含めた運営業務）について広く企画提案を募り、最も適切な者を委託予定業者として選定するため、本企画プロポーザルを実施する。

2 委託業務の内容

- (1) 名称：「令和 4 年度沖縄県伝統芸能公演（高校生選抜かりゆし芸能公演）
企画・広報・運営業務」
- (2) 業務内容：別紙企画提案仕様書のとおり

3 履行期間（予定）

契約締結日から令和 5 年 3 月 31 日（金）

4 委託料上限額

委託料上限額は、2, 1 3 4, 0 0 0 円（消費税及び地方消費税を含む）とする。
（当該金額は、企画提案のために提示する金額であり、契約金額ではない。）

5 応募資格

次に挙げる要件をすべて満たす者であること。

- (1) 沖縄県内に住所または活動の本拠地を有すること。（法人格は必ずしも必要ではない。）但し、個人の応募は不可とする。
- (2) 規約を有し、かつ代表者が明らかであること。
- (3) 会計処理が明確であること。
- (4) 地方自治法施行例第 167 条の 4 の規定に該当しない者。
- (5) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更正手続き開始申し立て、又は民事再生法（平成 11 年法律第 255 号）に基づく再生手続き開始の申し立てがなされていない者。
- (6) 宗教活動や政治活動を主たる目的としない者、かつ暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律 77 号）第 2 条第 2 号に掲げる暴力団及びそれらの利益となる活動を行うものではないこと。
- (7) 業務実績等から本業務の履行に支障なく、遂行できると認められる者。
- (8) 租税等を完納していること。

6 応募方法

(1) 参加申込

本企画プロポーザルに参加する者は、(公財)沖縄県文化振興会(以下、振興会という。)あてに別紙「企画プロポーザル参加申込書(様式①)」を令和4年5月11日(水)午後5時までにFAX又はメールにて提出すること。(FAX又はメール送信後は、電話で受信確認を行うこと。)

(2) 企画提案書等の提出

ア 提出締切：令和4年5月16日(月)まで(午後5時必着)

イ 提出先：(公財)沖縄県文化振興会 文化芸術推進課

那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター6階 605

ウ 提出書類：「7 提出書類」に定める書類一式を提出すること。

7 提出書類

別紙企画提案仕様書に基づき、以下の書類を提出すること。

(1) 企画提案申請書(様式②)・・・1部

(2) 企画提案書(様式任意)・・・8部

ア 原則としてA4判、左綴りとする。(但し、必要な資料についてはA3判にして折り込む等、理解しやすいように適宜工夫してもよい。)

イ 審査員が企画や意図等を容易に理解できるよう、図表等を用いるなどの工夫すること。

ウ 提出する企画提案書は各者1案までとする。

エ 提案内容について

- ・ 具体的な公演内容(プログラム構成や琉球舞踊、三線音楽等)について提示すること。
- ・ その他本事業の目的に沿った、成果を高める独自企画等について提示すること。
- ・ 出演者についての概要、人数規模等を提示すること。
- ・ 業務内容に沿ったスケジュール表を提示すること。
- ・ 本業務の実施体制や担当者等を提示すること。

(3) 見積書(様式任意)・・・8部

ア 企画提案書と別綴りとし、委託料上限額(消費税及び地方消費税を含む)の範囲内で見積を行うこと。

イ 項目が多くなる場合には、別紙として費用内訳書を添付すること。

ウ 企画提案仕様書等に記載のない事項については、企画提案者の行う内容に沿って積算すること。

(4) 企業・団体概要(様式任意)・・・8部

(5) 協定書(様式任意)・・・8部 ※協同企業体の場合のみ提出

8 審査方法

(1) 企画提案書等の審査

提出された企画提案書に基づいてプレゼンテーション審査を行う。

※締切後の追加資料は認めない。

(2) プレゼンテーションについて

ア プレゼンテーションにおける各者の説明及び質疑応答の持ち時間は、各 15 分とする。

(内訳：10 分・・・説明 5 分・・・質疑応答)

イ プレゼンテーション順は原則受付順とし、1 社につき 3 名までの参加とする。

ウ プレゼンテーション審査の日時・場所等については、別途連絡する。

エ 審査の結果は、別途文書にて通知する。

(3) 審査基準

ア 具体性：スケジュール、企画案等は実現可能な内容か。

イ 集客性：演目や出演者に工夫があり、集客を見込める内容か。

ウ 経費：仕様書に準じた、適正な積算となっているか。

エ 総合評価：企画案の総合バランスはどうか。

(4) 契約について

原則、第 1 位と選定された者と協議のうえ、契約を締結する。但し、契約締結に関して必要な協議が合意に至らない場合は次順位以降の者を繰り上げて、協議のうえ、契約を締結する。

9 日程

本企画プロポーザルの公募から契約までの概ねの日程は次のとおり。

(1) 令和 4 年 4 月 28 日（木）～ 5 月 6 日（金）プロポーザル実施にかかる質問の締切

備考：質問は、「11 問い合わせ先（事務局）」記載の担当者あて Email で受け付けます。

質問に対する回答は、5 月 9 日（月）に振興会ホームページに掲載します。

なお、審査に関するお問い合わせには応じられません。

(2) 令和 4 年 5 月 11 日（水）企画プロポーザル参加申込書 締切 ※午後 5 時まで

(3) 令和 4 年 5 月 16 日（水）企画提案書等 締切 ※午後 5 時まで

(4) 令和 4 年 5 月下旬 プレゼンテーション審査

(5) 令和 4 年 5 月下旬 結果通知

(6) 令和 4 年 6 月上旬 契約予定

10 その他

(1) 企画プロポーザルに要する費用は、参加者の負担とする。

(2) 提出された企画書等は、原則として返却しない。

(3) 審査内容や審査経過については、質問及び異議申し立ては受け付けない。

(4) 採択された企画案については、採用後の調整で変更することがある。

(5) 本業務に関する制作物の著作権については、振興会に帰属する。

(6) 検討すべき事項が生じた場合は、振興会と委託予定業者とで別途協議する。

(7) 企画提案書、見積書の宛名は「(公財) 沖縄県文化振興会 理事長」あてとすること。

11 提出先及び問い合わせ先（事務局）

(公財) 沖縄県文化振興会 文化芸術推進課 玉城・仲宗根

住所： 那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター 6 階 605

電話： 098-987-0926 FAX： 098-987-0928 Mail： kariyushi@okicul-pr.jp